



オンラインギャラリーで、障がい者アート作品を紹介

「僕がやっていることは微力ですが、無力ではないと信じています。様々な事業を展開している山崎さんですが、近い将来には、障がい者のある方もない方も集いふれあえる、ギャラリー併設の芸術サロンのような地域交流の場を創りたいとのこと。

**PROFILE**

長野市出身。一般企業に20年以上勤務した後、環境保護の観点から豆腐の“おから”を活用した緩衝材を製造・販売する会社を起業。16年前には株式会社サースを立ち上げ、封入・封かん等を主力とする代行サービス業を始める。今年、障がい者アートに出会ったことがきっかけとなり、「アートdeラボ」を立ち上げ、現在に至る。

**DATA**

アート de ラボ / 株式会社サース

[設立] 株式会社サース: 2009年  
アートdeラボ: 2025年1月

[事業内容] 障がい者アート作品のレンタル・販売・ノベルティグッズの企画提案・制作、DM・冊子等の封入・封かん、ラベル貼付作業、発送代行業務

[所在地] 長野市徳間1丁目18-6 TEL 026-263-3063

[URL] <https://saas-dm.com/>  
<https://artdelab.p-kit.com/>



障がい者アートを活用したオリジナルデザインのノベルティ

アートから始まる夢がある

アートdeラボは、日本障がいフォーラム（JDF）にも加入しており、イェローリボン運動を通して、障害のある方の社会参加にも取り組んでいます。

また今年度は、長野美術専門学校の学生とコラボレーションを組み、障がい者アートをデザイン化した作品を制作・販売する企画も進められています。

「アートdeラボの使命は、アートでつながる絆、アートでつながる社会、アートで広がる夢です。障がいのある方がアートで夢を叶える環境を創り、障がい者と健常者が分け隔てなく生きていける共生社会を目指しています。」

障がい者の自立につながるビジネスを展開

山崎さんが目指すのは、アートで障がい者の生き方の選択肢を創ること。その取り組みのひとつとして始めたのが、アートレンタルサービスです。「アートdeラボ」のホームページ内でオンラインギャラリーを展開。企業のロビーや会議室などに飾る作品（レプリカ）をレンタルしていただくことでレンタル料が発生し、アーティストには創作活動応援費が支払われる仕組みです。

障がい者のアート作品を社会に発信することを目的に「アートdeラボ」が創設されました。

力を入れているのがノベルティグッズの制作サービスです。ノベルティとは、企業や団体が商品の宣伝やブランディング向上、顧客への感謝を目的に無料で配布する記念品や贈答品のことです。障がい者アートを使用

障がいのある方が、アートで夢を叶える環境づくり

輝くあの人にインタビュー

人きらっとひかる

アート de ラボ / 株式会社サース  
代表取締役

山崎 豊さん



障がいのあるアーティストが描く 独創性あふれる世界

障がい者アートが社会的に注目されるようになったのは、2000年代に入ってからのことです。さらに近年では、障がい者アートの展覧会が全国各地で開かれるようになり、身近な場で障がい者のアート作品に触れる機会も増えてきました。心を解き放ち、自由な発想から生まれた作品は、色彩も構図もタッチも独創性に富み、観る人を強く惹きつけます。山崎豊さんも、障がい者アートに魅了された一人です。初めて障がい者支援施設で作品を観たときは、「こんなすこい絵を描ける人がこの世にいるのか」と思ったくらい、その世界観に圧倒され、才能に深い感銘を受けました。

障がい者支援施設の方にお願ひして、実際に作家に出会い、その人柄を知るにつけ、山崎さんは一人のアーティストとして応援したいと考えるようになりました。こうして

「僕がやっていることは微力ですが、無力ではないと信じています。様々な事業を展開している山崎さんですが、近い将来には、障がい者のある方もない方も集いふれあえる、ギャラリー併設の芸術サロンのような地域交流の場を創りたいとのこと。」